

参考資料

ページ

実績編

・ 連結	主要決算数値（11年度 対 10年度）	1
	連結会社別・セグメント別売上高内訳	2
	連結資産構成変化（11年9月末 対 11年3月末）	3
・ 個別	主要決算数値（11年度 対 10年度）	4
	営業主要計数 内訳（11年度 対 10年度）	5
	主要決算数値（11年度 対 7/29見通し）	6
	営業主要計数 内訳（11年度 対 7/29見通し）	7

見通し編

・ 個別	経済フレーム及び年度収支影響感度	8
・ 連結	主要決算数値（今回見通し 対 7/29見通し）	9
・ 個別	主要決算数値（今回見通し 対 7/29見通し）	10
	営業主要計数内訳（今回見通し 対 7/29見通し）	11
	主要決算数値（今回見通し 対 10年度）	12
	営業主要計数内訳（今回見通し 対 10年度）	13
・ 連結	営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳	14

実績編

連結 主要決算数値 (11年度 対 10年度)

億円

	FY11 2Q	FY10 2Q	増減		備考
売上高	7,483	7,013	470	6.7%	都市ガス+326(販売量増・単価増、うちシオ+111)、その他エネルギー+288(エネルギーサービス+138)
営業利益	17	480	▲ 463	▲96.4%	都市ガス▲408、その他エネルギー▲19(エネルギーサービス▲16)、全社費用増▲17
経常利益	19	458	▲ 439	▲95.8%	営業外損益+22(為替レート差損益+32、天候デリバティブ差損益▲12)
当期純利益	▲ 49	255	▲ 304	▲119.4%	特別損失増▲25(投資有価証券評価損)

総資産 ※	17,790	18,296	▲ 506	▲2.8%	流動資産▲293(未収入金▲459、原材料+147)、有形・無形固定資産▲128(設備投資585、償却▲722)、投資その他の資産▲86(投資有価証券▲121)
自己資本 ※	8,043	8,589	▲ 546	▲6.4%	自己株式市場買付▲339、配当金▲120、当期純利益▲49、株式評価差額金▲23
自己資本比率 ※ (%)	45.2%	46.9%	▲ 1.7	—	総資産の減(▲2.8%)に比べ、自己資本の減(▲6.4%)が大きかったため下落
総資本回転率 (回転)	0.41	0.39	0.02	—	
有利子負債残高 ※	6,398	5,841	557	9.5%	東京ガス+524、東京ガスコーコン+117、東京ガス都市開発▲80
当期純利益	▲ 49	255	▲ 304	▲119.4%	
減価償却(*2・3)	722	719	3	0.4%	東京ガス+4
営業キャッシュ・フロー(*1)	672	974	▲ 302	▲31.0%	
設備投資(*2)	585	668	▲ 83	▲12.5%	扇島パワー▲164、東京ガス+25、Tokyo Gas QCLNG+23、エネルギーアドバンス+13
1株当たり四半期純利益(円/株)	▲ 1.89	9.54	▲ 11.43	—	当期純利益減(▲304億円)により下落
1株当たり純資産 ※ (円/株)	311.20	320.70	▲ 9.50	▲3.0%	

今期末(2011年4月～9月)は連結71社(東京ガス+連結子会社65社+持分法適用関連会社5社)、前年同期末は連結67社(東京ガス+連結子会社62社+持分法適用関連会社4社) FY10 2Q数値は、P/L系の項目は前年同期数値を表示、B/S系の項目は前期末(2011年3月末)数値を表示(※印付き項目)

(*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「四半期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(*2)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(*3)減価償却には長期前払費用償却を含む

連結会社別・セグメント別売上高内訳表

百万円

		セグメント別外部売上高					計	外部 売上高比率	内部 売上高	単独決算 売上高
		都市ガス	器具及び工事	その他エネルギー	不動産	その他				
東京ガス(A)		489,225	48,895	48,470	0	3,458	590,050	91.1%	57,646	647,696
連結 会社 別 外部 売上 高 計	東京ガス都市開発	0	0	0	5,111	0	5,111	35.1%	9,440	14,551
	扇島パワー	0	0	7,182	0	0	7,182	25.0%	21,595	28,778
	長野都市ガス	5,204	579	0	0	0	5,783	100.0%	0	5,783
	エネルギーアドバンス	0	0	33,756	0	0	33,756	95.6%	1,543	35,299
	ガスター	0	5,802	0	0	0	5,802	43.8%	7,446	13,249
	東京エルエヌジータンカー	0	0	0	0	2,546	2,546	38.5%	4,059	6,605
	東京ガスエネルギー	141	0	10,773	0	0	10,915	75.6%	3,528	14,444
	キャプティ	0	6,455	0	0	2,294	8,750	35.0%	16,229	24,979
	東京ガスケミカル	0	0	5,888	0	0	5,888	69.3%	2,610	8,498
	千葉ガス	6,303	534	539	0	0	7,377	95.9%	316	7,693
	ティーシー情報ネットワーク	0	0	0	0	376	376	4.3%	8,412	8,788
	東京ガス・エンジニアリング	0	0	0	0	18,480	18,480	88.6%	2,375	20,856
	ニジオ	6,190	0	0	0	0	6,190	20.3%	24,275	30,466
その他	6,638	8,072	12,336	250	12,868	40,166	62.0%	24,616	64,782	
連結子会社計(B)		24,478	21,444	70,477	5,361	36,566	158,328	55.6%	126,449	284,777
連結会社合計		513,703	70,340	118,947	5,361	40,024	748,378	80.3%	184,095	932,474
外部売上比率		91.0%	70.8%	68.6%	36.2%	49.7%	80.3%	-	-	-
内部売上高(C)		50,671	29,073	54,361	9,433	40,554	184,095	-	184,095	-
単純合算売上高(A)+(B)+(C)		564,375	99,413	173,309	14,795	80,579	932,474	-	-	-

連結資産構成の変化(11年9月末 対 11年3月末)

(対前年度末比較)

億円

	2011/09末		2011/03末		増減		増減内訳
		構成比		構成比			
【資産の部】							
固定資産	13,689	76.9%	13,902	76.0%	▲213	▲1.5%	(有形・無形固定資産)設備投資+585、減価償却▲722 (投資その他の資産)投資有価証券▲121(減損による減少▲48、時価評価差額による減少▲36)、長期貸付金+36
流動資産	4,100	23.1%	4,393	24.0%	▲293	▲6.7%	(その他流動資産)未収入金▲459、原材料+147
資産合計	17,790	100.0%	18,296	100.0%	▲506	▲2.8%	

【負債の部】							
有利子負債	6,398	36.0%	5,841	31.9%	557	9.5%	(社債)第34回債発行による増加+200 (長期借入金)新規借入+376、返済▲140、(コマーシャル・ペーパー)+120
退職給付引当金	913	5.1%	968	5.3%	▲55	▲5.7%	TG▲57
支払手形・買掛金	765	4.3%	761	4.2%	4	0.5%	
その他負債	1,514	8.5%	1,983	10.8%	▲469	▲23.6%	未払法人税等▲197、未払金・未払費用▲239
負債合計	9,592	53.9%	9,555	52.2%	37	0.4%	
【純資産(資本)の部】							
株主資本	8,089	45.5%	8,599	47.0%	▲510	▲5.9%	自己株式市場買付▲339、配当金▲120、当期純利益▲49
その他の包括利益累計額	▲45	▲0.3%	▲10	▲0.1%	▲35	327.1%	(その他有価証券評価差額金)時価評価差額の減少▲23、(繰延ヘッジ損益)▲16
少数株主持分	154	0.9%	151	0.8%	3	1.6%	
純資産(資本)合計	8,197	46.1%	8,740	47.8%	▲543	▲6.2%	自己資本比率46.9%(2011/03末)→45.2%(2011/09末)
負債・純資産(資本)合計	17,790	100.0%	18,296	100.0%	▲506	▲2.8%	

個別 主要決算数値(11年度 対 10年度)

第2四半期実績

	億円		
	今期	前期	増減
総売上高	6,476	6,037	439 7.3%
営業利益	-121	315	-436 -138.5%
経常利益	-44	386	-430 -111.4%
当期純利益	-62	272	-334 -123.0%

料金スライドの収支への影響

	今期	前期	増減
料金によるスライド回収	172	-148	320
原料費の増加分	576	-1	577
差し引き	-404	-147	-257

金額は基準価格に対する増減額

経済フレーム

	今期	前期	増減
原油価格	113.91	78.37	35.54 \$/bbl
為替レート	79.75	88.91	-9.16 円/\$

	億円			
	今期	前期	増減	
製品売上高(ガス売上高)	5,134	4,913	221 4.5%	
営業費用	原材料費	3,197	2,684	513 19.1%
	(粗利)	(1,937)	(2,229)	(-292) (-13.1%)
	諸給与	483	378	105 27.7%
	諸経費	1,113	1,095	18 1.7%
	減価償却費	524	520	4 0.8%
	LNG受託加工費	-23	-19	-4 -
計	5,296	4,660	636 13.7%	
受注工事収支	-7	-7	0 -	
器具販売等収支	41	46	-5 -10.9%	
営業雑収支	34	39	-5 -13.0%	
附帯事業収支	5	21	-16 -72.3%	
営業利益	-121	315	-436 -138.5%	
営業外収支	77	71	6 8.5%	
経常利益	-44	386	-430 -111.4%	
特別利益	0	36	-36 -100.0%	
特別損失	48	23	25 108.7%	
法人税等	-29	126	-155 -123.4%	
当期純利益	-62	272	-334 -123.0%	

数量・料金構成差▲85億円、単価差+306億円

数量・原料構成差▲44億円、単価差+557億円(為替影響=▲326、油価影響=+665、その他+218)

数量・構成差▲41億円、単価差▲251億円

退職手当+107億円(数理計算上の差異費用+112億円) 他

詳細は下記参照

本支管・製造設備他新規取得に伴う償却費増+4億円

器具収支減▲9億円

LNG販売▲9、電力販売▲3 他

為替レート差益増+20(当期+6、前期▲14)、天候デリバティブ差益減▲12(当期+1、前期+13) 他

TGエンタープライズ合併による特別利益(前期)の消失▲36億円

投資有価証券評価損+25億円

	億円		
	今期	前期	増減
修繕費	171	161	10 6.0%
消耗品費	66	67	-1 -0.9%
賃借料	89	97	-8 -7.9%
委託作業費	313	300	13 4.1%
租税課金	203	199	4 2.0%
需要開発費	102	107	-5 -4.6%
その他	169	164	5 3.3%

ガス栓保安対策(引当含む)+9億円 他

建物・施設賃借料▲7億円 他

導管関係委託費+7億円、営業関係委託費+2億円、電話受付委託費+2億円 他

事業税+3億円 他

広告費▲3億円 他

除却費+3億円 他

個別 営業主要計数(11年度 対 10年度)

第2四半期実績

お客さま件数

千件

	今期	前期	増減	
お客さま件数	10,480	10,376	104	1.0%
新設件数	72	77	-5	-6.1%

個別ガス販売実績

百万m3

	今期	前期	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	144.0	149.8	-5.8	-3.9%	気温影響▲2.2m3(▲1.5%)、日数差異+0.1m3(+0.1%)、その他(節約行動含む)▲3.7m3(▲2.5%)	
家庭用	1,273	1,315	-42	-3.1%	気温影響▲20百万m3(▲1.5%)、日数差異+1百万m3(+0%)、件数差+10百万m3(+0.8%)、その他増減(節約行動含む)▲33百万m3(▲2.5%)	
業務用	商業用	851	981	-130	-13.2%	
	その他用	425	506	-81	-16.0%	
業務用計	1,276	1,487	-211	-14.1%	気温影響▲40百万m3(▲2.7%)、その他増減(節電、震災影響含む)▲171百万m3(▲11.4%)	
工業用	発電専用	1,167	1,038	128	12.4%	
	発電専用以外	1,518	1,465	53	3.6%	プレゼンテーション資料6ページ参照
工業用計	2,684	2,503	181	7.2%		
計	3,960	3,990	-30	-0.7%		
卸供給	1,022	1,032	-10	-1.0%	気温影響+2百万m3(+0.2%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲12百万m3(▲1.2%)	
合計	6,256	6,337	-81	-1.3%	気温影響▲58百万m3(▲0.9%)、発電専用+128百万m3(+2.0%)、工業用(発電専用以外)+53百万m3(+0.8%)、卸供給(気温影響除き)▲12百万m3(▲0.2%)、その他▲192百万m3(▲3.0%)	
(内大口供給)	3,294	3,213	81	2.5%		

個別 主要決算数値(11年度 対 7/29見通し)

第2四半期実績

	億円			
	今期	前回7/29	増減	
総売上高	6,476	6,530	-54	-0.8%
営業利益	-121	-90	-31	-
経常利益	-44	-20	-24	-
当期純利益	-62	-10	-52	-

料金スライドの収支への影響

	今期	前回7/29	増減
料金によるスライド回収	172	183	-11
原料費の増加分	576	603	-27
差し引き	-404	-420	16

金額は基準価格に対する増減額

経済フレーム

	今期	前回7/29	増減
原油価格	113.91	112.48	1.43 \$/bbl
為替レート	79.75	80.86	-1.11 円/\$

		億円			
		今期	前回7/29	増減	
製品売上高(ガス売上高)		5,134	5,170	-36	-0.7%
営業費用	原材料費	3,197	3,193	4	0.1%
	(粗利)	(1,937)	(1,977)	(-40)	(-2.0%)
	諸給与	483	486	-3	-0.5%
	諸経費	1,113	1,098	15	1.4%
	減価償却費	524	525	-1	0.0%
	LNG受託加工費	-23	-22	-1	-
計		5,296	5,280	16	0.3%
受注工事収支		-7	-7	0	-
器具販売等収支		41	37	4	12.1%
営業雑収支		34	30	4	14.7%
附帯事業収支		5	-10	15	-
営業利益		-121	-90	-31	-
営業外収支		77	70	7	10.1%
経常利益		-44	-20	-24	-
特別利益		0	0	0	-
特別損失		48	0	48	-
法人税等		-29	-10	-19	-
当期純利益		-62	-10	-52	-

数量・料金構成差▲15億円、単価差▲21億円

数量・原料構成差+18億円、単価差▲14億円(為替影響=▲33、油価影響=+3、その他=+16)

数量・構成差▲33億円、単価差▲7億円

詳細は下記参照

設備取得時期遅れに伴う償却費減他▲1億円

間接費減+4億円 他

電力販売+13億円 他

為替レート差益+6億円 他

投資有価証券評価損+48億円

		億円			
		今期	前回7/29	増減	
修繕費		171	166	5	3.3%
消耗品費		66	70	-4	-4.3%
賃借料		89	90	-1	-0.5%
委託作業費		313	312	1	0.4%
租税課金		203	205	-2	-0.5%
需要開発費		102	87	15	17.4%
その他		169	168	1	-1.2%

ガス栓保安対策(引当含む)+9億円 他

消耗品がスマート▲2億円 他

イベント広告費+9億円、需要開発手数料+5億円 他

個別 主要決算数値(11年度 対 7/29見通し)

第2四半期実績

お客さま件数

千件

	今期	前回7/29	増減	
お客さま件数	10,480	10,481	-1	0.0%
新設件数	72	69	3	4.7%

ガス販売量内訳

百万m3

	今期	前回7/29	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	144.0	146.5	-2.5	-1.7%	気温影響▲2.2m3(▲1.6%)、その他増減(節約行動含む)▲0.3m3(▲0.2%)	
家庭用	1,273	1,297	-24	-1.8%	気温影響▲20百万m3(▲1.6%)、その他増減(節約行動含む)▲4百万m3(▲0.3%)	
業務用	商業用	851	834	17	2.1%	
	その他用	425	424	1	0.2%	
	業務用計	1,276	1,258	18	1.5%	気温影響+14百万m3(+1.1%)、その他増減(節電、震災影響含む)+4百万m3(+0.3%)
工業用	発電専用	1,167	1,153	14	1.2%	
	発電専用以外	1,518	1,526	-8	-0.6%	
	工業用計	2,684	2,679	5	0.2%	既存物件稼働増
計	3,960	3,937	23	0.6%		
卸供給	1,022	1,028	-6	-0.6%	気温影響▲3百万m3(▲0.3%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲3百万m3(▲0.3%)	
合計	6,256	6,262	-6	-0.1%	気温影響▲9百万m3(▲0.1%)、発電専用+14百万m3(+0.2%)、工業用(発電専用以外)▲8百万m3(▲0.1%)、卸供給(気温影響除き)▲3百万m3(▲0.1%)、その他±0百万m3(±0%)	
(内大口供給)	3,294	3,274	20	0.6%		

見通し編

個別 経済フレーム及び年度収支影響感度

経済フレーム

	今回10/31見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	113.91	110.00	111.96	\$/bbl
為替レート	79.75	80.00	79.88	円/\$
	前回7/29見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	112.48	110.00	111.24	\$/bbl
為替レート	80.86	80.00	80.43	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	1.43	0.00	0.72	\$/bbl
為替レート	-1.11	0.00	-0.55	円/\$

原油価格・為替レート変動の年度収支影響感度

	1\$/bbl	3Q	4Q	年度
売上高		▲ 5	0	▲ 5
原料		▲ 13	▲ 3	▲ 16
粗利		8	3	11

※油価が1\$下がった場合の収支影響

	1円/\$	3Q	4Q	年度
売上高		▲ 22	▲ 6	▲ 28
原料		▲ 24	▲ 19	▲ 43
粗利		2	13	15

※為替が1円円高になった場合の収支影響額

連結 主要決算数値(今回見通し 対 7/29見通し)

通期見通し

億円

	今回 (10/31)	前回 (7/29)	増減		備考	
売上高	17,140	17,050	90	0.5%	その他エネルギー売上高増+130(電力販売売上増)、都市ガス売上高▲27(売上単価減)	
営業利益	610	610	0	0.0%		
経常利益	580	580	0	0.0%		
当期純利益	320	370	▲ 50	▲13.5%	特別損失増▲48(投資有価証券評価損)	
総資産	18,990	18,750	240	1.3%		
自己資本	8,300	8,370	▲ 70	▲0.8%	利益剰余金減▲50(当期純利益減少)	
自己資本比率 (%)	43.7%	44.6%	▲ 0.9	-	利益剰余金減に伴う自己資本減により下落	
総資本回転率 (回転)	0.92	0.93	▲ 0.01	-		
ROA(*2) (%)	1.7%	2.0%	▲ 0.3	-	当期純利益減(▲13.5%)により下落	
ROE(*2) (%)	3.8%	4.4%	▲ 0.6	-	当期純利益減(▲13.5%)により下落	
有利子負債残高	6,520	6,120	400	6.5%	東京ガス+412	
D/Eレシオ	0.79	0.73	0.06	-		
	当期純利益	320	370	▲ 50	▲13.5%	
	減価償却(*3・4)	1,490	1,500	▲ 10	▲0.7%	
営業キャッシュ・フロー(*1)	1,810	1,870	▲ 60	▲3.2%		
設備投資(*3)	1,580	1,600	▲ 20	▲1.3%	TGゴ-ゴン▲9	
TEP	▲ 46	▲ 43	▲ 3	-	有利子負債増による資本コスト増で減少	
(WACC)	3.2%	3.2%	-	-		
1株当たり当期純利益 (円/株)	12.29	14.21	▲ 1.92	▲13.5%	当期純利益減(▲13.5%)により下落	
1株当たり純資産 (円/株)	321.11	323.82	▲ 2.71	▲0.8%	利益剰余金減に伴う自己資本減により下落	
総分配性向(*5)	(*6) -	-	-	-		

(*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(*2)ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値

(*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(*4)減価償却には長期前払費用償却を含む

(*5)n年度総分配性向 = ((n年度の利益処分ベース配当金額)+(n+1年度の自社株取得額)÷(n年度連結当期純利益)

(*6)本中期経営計画期間(2009～2013年度)中における総分配性向の目標を、6割に設定している。

個別 主要決算数値(今回見通し 対 7/29見通し)

通期見通し

	億円			
	今回	前回7/29	増減	
総売上高	15,030	14,920	110	0.7%
営業利益	350	370	-20	-5.4%
経常利益	430	430	0	0.0%
当期純利益	250	300	-50	-16.7%

料金スライドの収支への影響

	今回	前回7/29	増減
料金によるスライド回収	919	957	-38
原料費の増加分	1,398	1,430	-32
差し引き	-479	-473	-6

経済フレーム

	今回	前回7/29	増減
原油価格	111.96	111.24	0.72 \$/bbl
為替レート	79.88	80.43	-0.55 円/\$

金額は基準価格に対する増減額

	億円				
	今回	前回7/29	増減		
製品売上高(ガス売上高)	11,880	11,930	-50	-0.4%	
営業費用	原材料費	7,213	7,189	24	0.3%
	(粗利)	(4,667)	(4,741)	(-74)	(-1.6%)
	諸給与	978	978	0	0.0%
	諸経費	2,372	2,372	0	0.0%
	減価償却費	1,087	1,096	-9	-0.8%
	LNG受託加工費	-43	-41	-2	-
計	11,607	11,594	13	0.1%	
受注工事収支	-6	-4	-2	-	
器具販売等収支	52	60	-8	-13.3%	
営業雑収支	46	56	-10	-17.9%	
附帯事業収支	31	-22	53	-	
営業利益	350	370	-20	-5.4%	
営業外収支	80	60	20	33.3%	
経常利益	430	430	0	0.0%	
特別利益	0	0	0	-	
特別損失	48	0	48	-	
法人税等	132	130	2	1.5%	
当期純利益	250	300	-50	-16.7%	

数量・料金構成差▲7億円、単価差▲43億円

数量・原料構成差+49億円、単価差▲25億円(為替影響=▲37、油価影響=+54、その他▲42)

数量・構成差▲56億円、単価差▲18億円

詳細は下記参照

設備取得時期遅れに伴う償却費減他▲9億円

器具収支減▲12億円

電力販売+49億円 他

為替レート差益+6億円、支払利息等減+4億円、投資有価証券等評価損減+2億円

投資有価証券評価損+48億円

諸経費

	億円			
	今回	前回7/29	増減	
修繕費	355	349	6	1.7%
消耗品費	140	142	-2	-1.4%
賃借料	178	179	-1	-0.6%
委託作業費	642	639	3	0.5%
租税課金	425	430	-5	-1.2%
需要開発費	249	252	-3	-1.2%
その他	383	381	2	0.5%

ガス栓保安対策(引当含む)+9億円 他

システム関係委託費+3億円 他

事業税▲5億円 他

需要開発手数料▲3億円 他

個別 主要決算数値(今回見通し 対 7/29見通し)
通期見通し

お客さま件数

千件

	今回	前回7/29	増減	
お客さま件数	10,548	10,551	-3	0.0%
新設件数	173	173	0	0.0%

ガス販売量内訳

百万m3

		今回	前回7/29	増減		
家庭用1件当たり販売量(m3)		377.7	382.5	-4.8	-1.3%	気温影響▲2.3m3(▲0.6%)、その他増減(節約行動含む)▲2.5m3(▲0.7%)
家庭用		3,346	3,391	-45	-1.3%	気温影響▲20百万m3(▲0.6%)、その他増減(節約行動含む)▲25百万m3(▲0.7%)
業務用	商業用	1,694	1,679	15	0.9%	
	その他用	858	858	0	0.1%	
業務用計		2,553	2,536	17	0.6%	気温影響+14百万m3(+0.6%)、その他増減+3百万m3(+0.1%)
工業用	発電専用	2,312	2,215	97	4.4%	
	発電専用以外	2,985	3,001	-16	-0.5%	
工業用計		5,297	5,217	80	1.5%	既存物件稼働増
計		7,850	7,753	97	1.2%	
卸供給		2,163	2,204	-41	-1.8%	気温影響▲3百万m3(▲0.1%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲38百万m3(▲1.7%)
合計		13,359	13,348	11	0.1%	気温影響▲9百万m3(▲0.1%)、発電専用+97百万m3(+0.7%)、工業用(発電専用以外)▲16百万m3(▲0.1%)、卸供給(気温影響除き)▲38百万m3(▲0.3%)、その他▲23百万m3(▲0.1%)
(内大口供給)		6,471	6,384	87	1.4%	

個別 主要決算数値(今回見通し 対 10年度)

通期見通し

	億円			
	今回	前期	増減	
総売上高	15,030	13,298	1,732	13.0%
営業利益	350	888	-538	-60.6%
経常利益	430	991	-561	-56.6%
当期純利益	250	674	-424	-63.0%

料金スライドの収支への影響

	今回	前期	増減
料金によるスライド回収	919	-409	1,328
原料費の増加分	1,398	-117	1,515
差し引き	-479	-292	-187

経済フレーム

	今回	前期	増減
原油価格	111.96	84.15	27.81
為替レート	79.88	85.74	-5.86

金額は基準価格に対する増減額

	億円				
	今回	前期	増減		
製品売上高(ガス売上高)	11,880	10,716	1,164	10.9%	
営業費用	原材料費	7,213	5,745	1,468	25.5%
	(粗利)	(4,667)	(4,971)	(-304)	(-6.1%)
	諸給与	978	764	214	28.0%
	諸経費	2,372	2,399	-27	-1.1%
	減価償却費	1,087	1,083	4	0.3%
	LNG受託加工費	-43	-40	-3	-
計	11,607	9,951	1,656	16.6%	
受注工事収支	-6	-3	-3	-100.0%	
器具販売等収支	52	73	-21	-29.3%	
営業雑収支	46	70	-24	-34.4%	
附帯事業収支	31	53	-22	-42.4%	
営業利益	350	888	-538	-60.6%	
営業外収支	80	102	-22	-22.0%	
経常利益	430	991	-561	-56.6%	
特別利益	0	52	-52	-	
特別損失	48	56	-8	-14.3%	
法人税等	132	311	-179	-57.7%	
当期純利益	250	674	-424	-63.0%	

数量・料金構成差▲159億円、単価差+1,323億円

数量・原料構成差▲36億円、単価差+1,504億円(為替影響=▲462、油価影響=+1,544、その他=+422)

数量・構成差▲123億円、単価差▲181億円

退職手当+221億円(数理計算上の差異費用+226億円) 他

詳細は下記参照

本支管・製造設備他新規取得に伴う償却費増+4億円

器具収支減▲24億円

電力販売▲12億円、LNG販売▲3億円 他

関係会社受取配当金▲29億円 他

TGエンタープライズ*合併による特別利益(前期の消失)▲36億円、固定資産売却益▲8億円 他

災害損失(前期)▲31億円、投資有価証券評価損+27億円 他

	億円			
	今回	前期	増減	
修繕費	355	354	1	0.1%
消耗品費	140	142	-2	-1.7%
賃借料	178	193	-15	-7.8%
委託作業費	642	616	26	4.1%
租税課金	425	408	17	4.0%
需要開発費	249	293	-44	-15.3%
その他	383	393	-10	-3.6%

ガス栓保安対策(引当含む)+9億円、本支管修繕費▲7億円 他

建物・施設賃借料▲15億円 他

導管関係委託費+15億円、電話受付委託費+8億円 他

事業税+14億円 他

家庭用営業費▲25億円、イベント展示会▲12億円、 他

郵送料▲8億円 他

個別 主要決算数値(今回見通し 対 10年度)

通期見通し

お客さま件数

千件

	今回	前期	増減	
お客さま件数	10,548	10,441	106	1.0%
新設件数	173	182	-9	-5.1%

ガス販売量内訳

百万m3

		今回	前期	増減		
家庭用1件当たり販売量(m3)		377.7	388.4	-10.7	-2.8%	気温影響▲5.8m3(▲1.5%)、日数差異+1.2m3(+0.3%)、その他増減(節約行動含む)▲6.1m3(▲1.6%)
家庭用		3,346	3,412	-66	-1.9%	気温影響▲53百万m3(▲1.5%)、日数差異+11百万m3(+0.3%)、件数差異+32百万m3(+0.9%)、その他増減(節約行動含む)▲56百万m3(▲1.6%)
業務用	商業用	1,694	1,880	-186	-9.9%	
	その他用	858	995	-137	-13.8%	
業務用計		2,553	2,875	-322	-11.2%	気温影響▲65百万m3(▲2.3%)、その他増減(節電、震災影響含む)▲257百万m3(▲8.9%)
工業用	発電専用	2,312	1,977	335	17.0%	
	発電専用以外	2,985	2,986	-1	0.0%	
工業用計		5,297	4,963	334	6.7%	既存物件稼働増
計		7,850	7,839	11	0.1%	
卸供給		2,163	2,191	-28	-1.3%	気温影響▲4百万m3(▲0.2%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲24百万m3(▲1.1%)
合計		13,359	13,441	-82	-0.6%	気温影響▲122百万m3(▲0.9%)、発電専用+335百万m3(+2.5%)、工業用(発電専用以外)▲1百万m3(▲0.0%)、卸供給(気温影響除き)▲24百万m3(▲0.2%)、その他▲270百万m3(▲2.0%)
(内大口供給)		6,471	6,281	190	3.0%	

連結 営業キャッシュフロー及び設備投資内訳

営業キャッシュフロー

実績（今期中間 対 前期中間） 億円

	今期	前年同期	増減	
当期純利益	-49	255	-304	-119.4%
減価償却	722	719	3	0.4%
営業CF(当期純利益+減価償却)	672	974	-302	-31.0%

（今回通期見通し 対 前期） 億円

	今回10/31	前期	増減	
当期純利益	320	954	-634	-66.5%
減価償却	1,490	1,493	-3	-0.2%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,810	2,448	-638	-26.1%

設備投資内訳

実績（今期中間 対 前期中間） 億円

		実績	前年同期	増減	
東京ガス	製造設備	53	33	20	59.8%
	供給設備	303	315	-12	-4.1%
	業務設備他	70	52	18	32.8%
	計	427	402	25	6.2%
連結子会社設備投資(連結相殺含む)		158	266	-108	-40.6%
合計		585	668	-83	-12.5%

製造設備 : その他製造設備他+20億円
 供給設備 : 安定供給関連他▲12億円
 業務設備他 : その他業務設備他+18億円

（今回通期見通し 対 前期） 億円

		今回10/31	前期	増減	
東京ガス	製造設備	242	91	151	165.9%
	供給設備	746	742	4	0.5%
	業務設備他	235	190	45	23.7%
	計	1,223	1,023	200	19.6%
連結子会社設備投資(連結相殺含む)		357	479	-122	-25.5%
合計		1,580	1,502	78	5.2%

製造設備 : 日立LNG基地建設、扇島工場TL22他+151億円
 供給設備 : 需要開発関連▲8億円、その他供給設備他+12億円
 業務設備他 : その他業務設備他+45億円

東京ガス株式会社

<見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるこ
とをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油
価格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への
東京ガスの対応等があります。